

宮 池 あきら みやいけ 明し ぽーと



ご 挨拶

奈良市議会議員 宮池 明

常日頃、皆様の温かいご支援、ご声援を賜りありがとうございます。第2号は、初めて本議会で質疑に立たせていただきました12月定例会（11月27日開会、12月4日閉会）の議会活動を中心に報告させていただきます。

また、これから冬の厳しさもましてこようと思います。インフルエンザも流行っておりますので、ご健康に気をつけられ、また防犯防火にご注意されますよう宜しくお願いいたします。

12月定例会一般質問要旨（抜粋）

◎ 事業仕分けについて

国において公明党が与党時代に初めて事業仕分けを取り入れました。しかし、実施の仕方で良くも悪くにもなり、地方自治体の事業仕分けは市民生活に直接影響を受けます。11月22日、23日に行われました奈良市の拙速な事業仕分け実施にあたり、事前準備と仕分け人の能力で結果に差が生じる問題点を数点取り上げました。

質問 他市では何ヶ月もかけて事前準備をされているが、奈良市の取り組みは。

市長 他市では何ヶ月もかけて準備をし、職員のスキルアップに努めており、今後の実施に当たっては、今回の経験を基に更に充実した事業仕分けとなるよう、改善してまいりたい。

質問 「男女共同参画センター管理運営事業」が「不要」について、高額な管理運営費のわりに費用対効果の上で結果が出せていない理由であるならば「要改善」は理解できますが「不要」とは移転か廃止になるが市長の考えは。

市長 「不要」であると厳しい結果でした。しかし、評価の内容としては「駅前という場所に対して利用が芳しくない」と「同じような設備を持った施設が複数あるので、ハードにかかる予算をソフト事業に振り分けるのが良い」というものでした。結果を受け止め、どのような「改善」可能かを検討させていただいております。

質問 我が党が強く推進してきた先進的な「音楽療法事業」の「不要」について、仕分け人の療法に対して「認識の濃淡」でも理解度が変わると感じる。そこで「音楽療法事業」に対する市長の認識は。

⇒裏面に続く



プロフィール

企画環境委員

市議会情報公開審査委員

奈良市公民館運営審議会

《発行者：宮池明》
〒630-8144
東九条町 1154-5

TEL&FAX
0742-63-1551

E-MAIL:
miyaikej@yaho.co.jp

《公明党奈良市議団》
〒630-8580
二条大路南1丁目
1番1号

TEL:0742-34-4789

FAX:0742-34-4913

みやいけ明 レポート

⇒続き

市長 平成7年当時、高齢者や障がいのある方に有効な福祉サービスはないかと検討し、海外の実例があり着目。福祉施策として、主に障がい者・児や要介護者を含む高齢者の生活を支える音楽療法推進事業を行ってまいり、関係者や保護者から喜びの声もいただいております。今後、現場の声も伺い方向性をさぐって参りたいと存じます。

◎ 伝統産業について

奈良市には、奈良墨・奈良筆など伝統産業が生きづいております。まさに今、10月下旬から来年の4月まで固形墨の生産がされております。しかし、全国シェアの90%を奈良市が占めているとはいえ、現状は厳しい実態を市民の方からお伺いしました。

質問 経済状況は年々厳しさが増し、受注量によっても左右される不安定な労働環境と期間限定の生産による季節労働となり技術の伝授もままならない状態と考えます。伝統産業の振興の取り組みは。

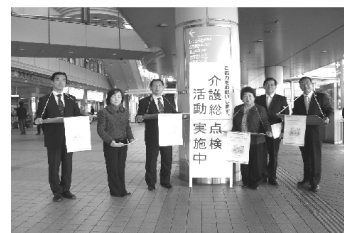
観光経済部長 「奈良工芸館」におきまして、墨・筆を常設展示し、素晴らしさを多くの人に紹介いたしております。さらに県外の物産展におきましても販売や紹介をしております。また多大な貢献をされた方に奈良市表彰をさせていただいており、これからも普及に努めてまいりたいと考えております。今後は、かかる実状を更に把握し、振興を図って参りたい。

トピックス



☆

公明党奈良市議会議員団は「介護総点検活動」と銘打ち調査活動を行っています。11月23日に街頭アンケートを実施しました。



法蓮町内に位置する大佛鐵道記念公園東隣の佐保川南町地内にカーブミラーが設置されました

☆

☆

小田原市の「事業仕分け」の実施調査と伊東市に「書道教育特区」の取り組みの視察をしました。



平成22年度予算編成にあたり市民の目線で行財政改革を推進するとともに市民協同の市政運営を推進するため、11月27日に仲川市長へ予算要望書を提出しました。

☆